島津斉彬
【しまづなりあきら】

(1809-1858) 江戸末期の薩摩藩主。1851 年異母弟久光をおさえて藩主となり、殖産興業、洋式兵備の充実を図り、短期間に反射炉や軍艦を造り、紡績機械を積極的に輸入した。将軍継嗣問題では一橋派に属した。

- 幕末辞典 -